

(別紙4(2))

事業所名 グループホームとのむら

目標達成計画

作成日: 平成 28年 11月21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	家族等来訪者が施設に対して直接言えない意見・要望等を広く拾い出し、施設運営に反映するため、その窓口や処理・対応の手順を明確化して周知されることが望まれる。	意見箱の設置のみではなく、意見や要望を個別にて受けることができる体制を構築する。	毎月担当者が書く、お手紙での通信欄を活用しもっと意見を吸い出せる仕組みを構築する。	1ヶ月
2	35	災害対策にて、施設立地状況から特に、近來の大雨、洪水を想定して、重度化した車いすの利用者の避難、夜間等での連絡体制や地域との協力体制など対応の検討が望まれる。	河川氾濫時の緊急避難マニュアルの作成と周知徹底	河川氾濫時の避難マニュアルの作成と周知を会議を通し行う	6ヶ月
3	職ア5.6	職員が管理者等に対し個別相談が出来る体制が望まれる。	年に一度の個別面談以外に管理者やリーダーが個別にて面談し解決できる事は迅速に対応できる仕組みを整える	半年に1度、管理者・リーダーが中心となり個別面談を実施。 対応法を管理者会議で調整し回答・実施する	6ヶ月
4	職ア2	事業所の次年度事業計画に職員の声を反映させる仕組みを取り入れる。	年1回の経営層との個別面談の際に、改善提案や新たな企画提案を聴ける時間をつくる	個別面談時に用いる人事考課表の裏面に次年度に向けての事業所の事業計画に提案できる項目をつくる	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。